

日本や世界における AI関連のルール作り

やざわ くら

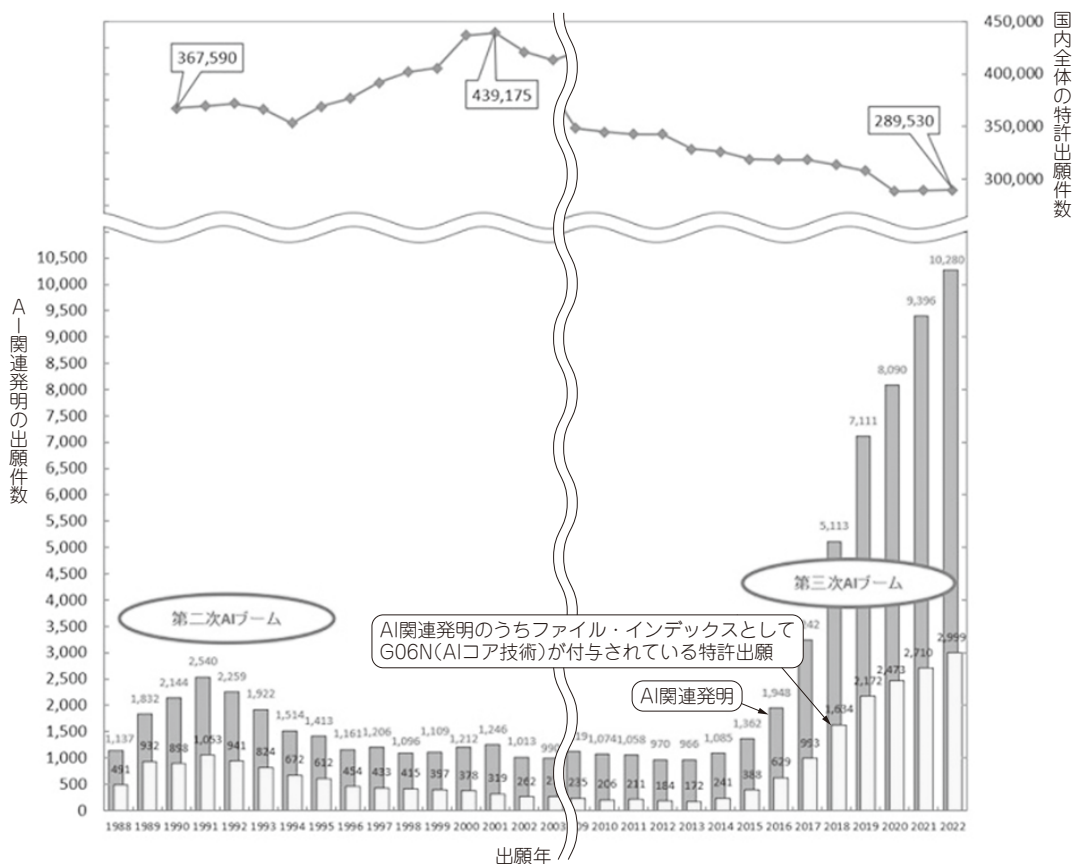


図1(2) AI関連発明の出願状況(引用：AI関連発明の出願状況調査，特許庁，2024年10月，p.3 図3)

近年，生成AIの目覚ましい発展により，生成AIの導入を積極的に推進する企業が増えてきています。例えば，

- ・コンテンツ制作分野におけるベース・モデル制作
- ・顧客サービス分野における利用者向けサポート
- ・情報サービス分野における要件定義やプログラミング
- ・建設分野におけるデザイン案作成
- ・材料開発の分野における新材料開発データ駆動型アプローチ (Materials informatics)

など，さまざまな産業で仕事を助ける生成AI活用(1)が進んできています。また，生成AI活用が進む中で，AI関連発明の特許出願(2)も増加してきており(図1)，その経済的効果(3)も考慮すると，今後ますます生成AI活用が加速するものと考えられます。

そこで本稿では，生成AI活用の前提として把握しておくべきポイントに関して解説します。